令和 8 年度　火山防災研修　募集要項

1. 研修概要

- 研修内容

・ 令和 8 年度　火山防災研修をオンラインにてオンデマンド形式で実施します。

研修期間・講義	定員
開催日：令和 8 年 5 月 18 日～令和 9 年 3 月 12 日 講義：「3.研修カリキュラム」を参照 ※研修の開始・終了時期は前後する可能性があります。	1000 名程度

- 研修方法

・ オンデマンドによる講義動画を視聴していただきます。

・ 講義動画は 1 コマ約 60 分、全 9 コマの合計で 9 時間程度となっておりますが、研修期間内であれば、PC だけでなくスマホやタブレットでも視聴が可能なので、受講者のご都合に合わせて計画的に進めることができます。

- 講義動画の視聴方法

・ 講義動画の視聴には、Web ブラウザ上で Pro-Seeds というオンライン学習管理システムを利用します。通常の Web サイトにアクセスできる PC、スマホ、タブレットがあれば当該システムを利用できますので、新たにアプリをインストールいただく必要はございません。

・ 受講の決定通知に合わせて、講義動画を視聴するためのサイトへのアクセス方法、ID とパスワードを事前に登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。
※PC 等の OS・ブラウザは最新バージョンを推奨します。また動画視聴には大容量のデータ通信が生じるため、接続環境は固定回線をお勧めします。

- 修了認定

・ 各講義の最後に習熟度テストを実施します。選択式のテストで、10 問中 8 問以上正解された場合、合格となります。

・ テストの正解数が 8 問に満たない場合は再度テストを受けることができます。再テストで 10 問中 8 問以上正解された場合も合格となります。全ての講義のテストに合格された方にはメールで修了証を送付させていただきます。

- 受講料

・ 受講料は無料です。

2. 応募要項

- 募集期間

・ 令和 8 年 5 月 1 日(金)から令和 9 年 2 月 26 日(金)まで

- 対象者

・ 国、地方公共団体、指定公共機関、指定地方公共機関及び火山防災協議会の構成員となっている機関の職員並びに大学教員等を対象とします。

- 応募方法

・ 応募に当たっては、以下のサイトの応募フォームに必要事項(氏名、所属団体・部署名、メールアドレス)をご入力・送信してください。

3. 研修カリキュラム

- 講義概要

研修内容※1	講師
1 基調講演 火山学・火山防災に造詣が深い第一人者より、自身の過去の研究にまつわる経験談を聞き、火山防災の歴史や思いに触れる。	**藤井　敏嗣** 山梨県富士山科学研究所 所長 東京大学名誉教授 （理学博士）
2 火山防災業務概論 避難計画や警戒避難に関する助言を行うには、法体系や地域防災計画の位置付けについて熟知しておく必要がある。そこで、活動火山対策特別措置法や地域防災計画の位置付け等について理解する。	**山田　拓**※2 内閣府 政策統括官（防災担当）付 参事官（調査・企画担当）付 参事官補佐
3 火山現象や噴火警報等に関する基礎知識 火山噴火時の避難計画は、気象庁の発表する噴火警戒レベルと連動している。火山現象の種類、噴火警報や噴火警戒レベルの考え方、火山噴火時の情報伝達について理解する。	**新堀　賢志** 特定非営利活動法人 火山防災推進機構 理事 事務局長

	（博士(理学)）
4 火山地域のハザードマップとその活用について 火山噴火に伴い避難行動をとる場合や避難計画を事前に作成する際には各火山現象の被害想定範囲を明示したハザードマップを活用することが必要であり、その基本的な考え方と活用方法について理解する。また、降灰後の土石流に対する土砂災害緊急情報についても理解する。	**大野　宏之** 一般社団法人 全国治水砂防協会 理事長 （防災庁火山防災エキスパート） （博士（農学））
5 避難計画作成の考え方 火山防災協議会では噴火シナリオや影響範囲をもとに避難計画を作成する必要がある。また、避難促進施設における避難確保計画作成にあたっては、市町村が支援する場合もある。それら災害予防の観点で必要となる考え方を理解する。また、離島へき地、複合災害、広域避難など地域ごとに考慮すべき点は多様であり、その考え方も理解する	**新堀　賢志** 特定非営利活動法人 火山防災推進機構 理事 事務局長 （博士（理学））
6 訓練実施の考え方 他災害と比較して発生頻度の低い火山災害に対して、計画に則り職員一人一人が的確に対応するには訓練等を通じての人材育成・確保が課題である。防災訓練の実施等を通じて職員の災害対応経験の不足を補うにあたっての考え方や専門家としての心得を理解する。	**吉本　充宏** 山梨県富士山科学研究所 研究部研究管理幹 （博士（理学））
7 火山災害の減災対策 火山噴火災害の被害を軽減するための緊急的な減災対策の計画と事前準備及び緊急対策工の機能と限界について理解する。	**山越　隆雄**[※2] 国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課地震・火山砂防室 室長 （博士（農学））
8 過去の災害に学ぶ 火山噴火前後においては、避難者の一時帰宅のタイミング等課題は多くあり、過去の対応事例を学ぶ。	**島田　明夫** 東北大学 名誉教授 （防災庁火山防災エキスパート）（博士（工学））
9 火山の恵み 火山地域は観光地域と併存している箇所も多く、防災と観光の両立は各地で課題とされている。ジオパークとの連携や観光	**杉本　伸一** 雲仙岳災害記念館 館長

客・登山者を対象とした普及・啓発の考え方などについて理解する。	（防災庁火山防災エキスパート）

※1：各講義の概要は研修内容に記載のとおりで、令和 8 年度火山防災研修では令和 7 年度に作成した講義用動画を使用しますが、予告なく動画の編集・差し替え等を行う可能性があります。
※2 令和 7 年度時点の所属・役職

４．その他

- 多くの方からご応募をいただいた場合、定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 本研修の運営は有限責任監査法人トーマツに委託しております。受講に当たってのご不明な点については、事務局までお問い合わせください。

【主催】防災庁　担当：統括官(防災計画担当)付参事官(調査・企画担当)付
野坂、佐々木 電話：(直通)03-5797-7891

【事務局】有限責任監査法人トーマツ　担当：大隈
電話：070-7538-1372　E-mail: cabinet-volcano@tohmatsu.co.jp